
PrimoによるAlmaデータとサービスの配信設定

Note

Primo VEを使用している場合、詳細については「[Primo VEの配信サービス](#)」を参照してください。

[メニューに戻る](#)

いくつかの例外(ラベルの変更やオンラインリソース配信カテゴリの変更など)を除き、Almaへの配信はデフォルトで設定されており、変更する必要はありません。Almaの配信では、特定の配信テンプレートを使用する必要があります。変更が必要だと思われる場合は、Ex Librisのサポートにご相談ください。

次のセクションでは、PrimoがどのようにAlmaデータとサービスを配信するかを説明します。配信に関する一般的な説明については、「[配信セクション](#)」を参照してください。

Primoで発見されたレコードについて、Almaは次のサービスカテゴリを提供します。

- **View It** – フルテキストへのリンクや、リソースのオンライン表現物を表示します。
 - **Get It** – リソースの物理的表現物に関連する追加サービスを表示します(印刷物アイテムについてリクエストオプションを提供するなど)。
-

Note

[View It]および[Get It]サービスは、Almaの認証とディスカバリーインターフェースの認証の両方でSAMLに基づくIDプロバイダーを使用するように設定された第三者のディスカバリーシステムと統合できるようになりました。詳細については、<https://developers.exlibrisgroup.com/alma/integrations/discovery>を参照してください。

Almaデータソースは、次のタイプのレコードの配信情報を提供します。これらのタイプのレコードについてAlmaの[View It]および[Get It]サービスを表示するには、Primoを設定する必要があります。

- ローカル – ローカルのPrimoサーバーで収集・保存されるAlmaレコード。
- リモート – CDIとMetaLibのリモート検索を介して見つめられるレコード。

ローカルレコードとリモートレコードの両方について、エンドユーザーがPrimoフロントエンドの配信タブ([View It]または[Get It])を選択すると、PrimoはAlmaにOpenURLリクエストを送信します。配信タブの詳細については、「[Almaの配信システムの設定](#)」を参照してください。

Almaから収集したPrimoのローカルレコードの配信設定

PrimoはAlmaレコードについて次の配信カテゴリを使用します。

- **Alma-P** – 物理的レコードに使用されます。
- **Alma-E** – 電子レコードに使用されます。
- **Alma-D** – デジタルレコードに使用されます。
- **Alma-C** – デジタルコレクションに使用されます。

Primoは、標準的な公開の場合、PNXレコードの[配信/delcategory](配信カテゴリ)フィールドに上記の値の1つを割り当てるために、Almaから収集されたレコードの[INT]フィールドを確認します。

[INT]フィールドがPに設定され、レコードに[856]フィールドも含まれている場合に(レコードにオンライン表現物があることを示します)、このルールの例外が生じます。この場合、Primoは、PNXレコードの[配信/delcategory]フィールドをオンラインリソースに設定します。直接Almaを使用する代わりに、[856]フィールドを介したオンラインリソースへのリンクを提供するため、システムに対して表示を行います。この例外は、別のILSからAlmaに移行する際にレコードを電子レコードに変換できない場合に発生する可能性があります。このシナリオを処理するには、すぐに使用できる設定を変更する必要があります。詳細については、「[オンラインリソース配信カテゴリの変更](#)」を参照してください。

一元化された公開の場合、PrimoはINSTサブフィールドbを確認して、機関ごとに配信/delcategoryを割り当てます。

収集されたレコードを正規化するためにPrimoが使用するルールは、Alma MARC - テンプレートおよびAlma Dublin Core - テンプレートのテンプレートで定義されます。これらのテンプレートの詳細については、「[Alma MARC 21](#)」を参照してください。

オンラインリソース配信カテゴリの変更

初期状態では、Primoは856リンク(PNXの[リンク/linktorsrc]フィールドに正規化されています)をオンラインリソースのメイン配信オプション(GetIt 1)の基礎として使用します。GetIt!タブ1テキスト設定マッピングテーブルのオンラインリソース配信コードのデフォルトラベルを、Almaに使用される用語を反映するよう変更する必要があります。

さらに、Primoは、二次配信オプション(GetIt 2)を設定して、標準のOpenURLテンプレートを、オンラインリソース用のAlmaのリンクリゾルバに送信します。

Almaを使用している場合は、次のマッピングテーブルの設定を変更して、AlmaからGet Itサービスをリクエストする必要があります。

- **GetIt! タブ1テキスト設定** – Get It 1タブに使用されるラベルを決定するコードを設定します。
- **GetIt! タブ2テキスト設定** – Get It 2タブに使用されるラベルを決定するコードを設定します。
- **GetIt! リンク2の設定** – Almaに送信されるOpenURLリクエストの構築に使用されるテンプレートを設定します。

Almaのオンラインリソース設定を行うには：

1. 次の表を使用して、GetIt!のオンラインリソース配信カテゴリのコードを変更します。タブ1テキスト設定マッピングテーブル：

GetIt!タブ1テキスト設定マッピングテーブル

配信カテゴリコード	利用可否ステータスコード	タブ1ラベルコード(変更)	タブ1ラベルコード(変更先)
Online Resource	may_be_restricted	tab1_onl_mayrestrict	alma_tab1_mayrestrict
Online Resource	restricted	tab1_onl_restrict	alma_tab1_restrict
Online Resource	not_restricted	tab1_onl_norestrict	alma_tab1_norestrict

2. 次の表を使用して、GetIt!のオンラインリソース配信カテゴリのコードを変更します。タブ2テキスト設定マッピングテーブル：

GetIt!タブ2テキスト設定マッピングテーブル

配信カテゴリコード	利用可否ステータスコード	タブ2ラベルコード(変更)	タブ2ラベルコード(変更先)
Online Resource	may_be_restricted	tab2_onl_mayrestrict	alma_tab2_mayrestrict
Online Resource	restricted	tab2_onl_restrict	alma_tab2_restrict
Online Resource	not_restricted	tab2_onl_norestrict	alma_tab2_norestrict

3. 次の表を使用して、GetIt!のオンラインリソース配信カテゴリのコードを**変更**します。リンク2マッピングテーブル設定：

GetIt!リンク2マッピングテーブル設定

配信カテゴリコード	利用可否ステータスコード	PNXのリンクフィールド(変更)	PNXのリンクフィールド(変更先)
Online Resource	may_be_restricted	openurl	Almagetit
Online Resource	restricted	openurl	Almagetit
Online Resource	not_restricted	openurl	Almagetit

Note

Almaのコレクションは、利用可否ステータスを提供しません。

ローカルAlmaレコードの標準配信設定

次の表は、Alma配信カテゴリ(Alma-P、Alma-C、Alma-D、Alma-E)をサポートするために、Primoのマッピングテーブルおよびコードテーブルの標準設定をまとめたものです。これらの設定は必要に応じて**変更**できます。

下表で、配信マッピングテーブルのAlma固有の設定について**説明**します。

ローカルマッピングテーブルの設定

マッピングテーブル	用途	配信カテゴリ/利用可否ステータス	定義
GetItリンク1の設定	主要配信オプションを定義します (Get It 1)	Alma-P / すべてのステータス	システムは、 Almagetit テンプレートを使って、AlmaからGet Itサービスをリクエストします。

マッピングテーブル	用途	配信カテゴリ/ 利用可否ステータス	定義
		Alma-Eおよび Alma-D / 全てのステータス	システムは、 Almaviewit テンプレートを使って、AlmaからView Itサービスをリクエストします。
		Alma-C / ステータスなし	システムは、 linktocollection テンプレートを使って、コレクションロビーでコレクションを表示します。
GetIt! タブ1のテキスト設定	GetIt 1タブのラベルのコードを定義します。テキストはGetItタブ1コードテーブルで定義されます。	Alma-P、 Alma-E、 Alma-D / すべて	すべての配信カテゴリ/ステータスには個別のコードがあります。詳細については、このマッピングテーブルのマッピング行を参照してください。
		Alma-C / ステータスなし	システムは linktocollection コードを使用します。
GetIt! リンク2の設定	二次配信オプションを定義します (Get It 2)。	Alma-P / 全てのステータス	追加の配信オプションは定義されていません。すべてのAlmaサービスは[Get It]を介して提供されます。追加の配信オプションが必要な場合は、ローカルな定義を追加できます。
		Alma-Eおよび Alma-D / 全てのステータス	システムは、 Almagetit テンプレートを使って、Almaから追加のサービスをリクエストします。
GetIt タブ2テキスト設定	GetIt 2タブのラベルのコードを定義します。テキストはコードテーブルで定義されます。	Alma-Eおよび Alma-D / すべて	すべての配信カテゴリ/ステータスには個別のコードがあります。詳細については、マッピングテーブルを参照してください。

Note

上記の表に記載されているすべてのテンプレートは、配信サブシステムの下にあるテンプレートマッピングテーブルで定義されています。

下表で、配信コードテーブルのAlma固有の設定について説明します。

ローカルコードテーブルの設定

コードテーブル	用途	配信カテゴリ	定義
GetIt!タブ1	Get It 1タブのラベルを定義します。	Alma-P	Get It
		Alma-EおよびAlma-D	View It
		Alma-C	コレクションを見る
GetIt!タブ2	Get It 2タブのラベルを定義します。	Alma-P	タブが定義されていません。
		Alma-EおよびAlma-D	Get It

リモート検索レコードのすぐに使える配信設定

PrimoがCDIやMetaLibの検索から取得するレコードには、リモート検索リソース配信カテゴリが割り当てられます。AlmaのリンクリゾルバとAlmaでないリンクリゾルバの双方について既定の設定をサポートするために、リモート検索リソース：**Alma**仮想配信カテゴリは、配信テーブルでAlma専用の設定を提供します。ユーザーの機関がAlma機関として定義されている場合、システムは最初に仮想配信カテゴリのテーブルを確認します。

CDIレコードの利用可否ステータスは、CDIに公開されているAlmaからの情報に基づいています。詳細については、「[セントラルディスカバリー索引の所蔵情報源としてのAlma](#)」を参照してください。MetaLibから取得したレコードの場合、PrimoはAlma RSI APIを使用して、フルテキストの利用可否ステータスを確認します。

下表で、リモート検索用の配信マッピングテーブルの標準設定について説明します。

リモートマッピングテーブルの設定

テーブル	用途	配信カテゴリ/利用可否ステータス	定義
GetItリンク1の設定 主要配信オプションを定義します(Get It 1)		リモート検索リソース：Alma / フルテキスト	システムは、 Almaviewit_remote テンプレートを使って、AlmaからView Itサービスをリクエストします。
		リモート検索リソース：Alma / fulltext_unknown	Note タイトルがオンラインリソースに直接リンクするよう設定されている場合、システムは Almasingle_service_remote テンプレートを使用します。
		リモート検索リソース：Alma / no_fulltext	システムは、 Almagetit_remote テンプレートを使って、AlmaからGet Itサービスをリクエストします。

テーブル	用途	配信カテゴリ/利用可否ステータス	定義
		リモート 検索リソース : Alma / no_fulltext_linktorsrc	
		リモート 検索リソース : Alma / citation_available	
GetIt! タブ1のテキスト設定	GetIt 1タブのラベルのコードを定義します。テキストはコードテーブルで定義されます	すべて	すべての配信カテゴリ/ステータスには個別のコードがあります。詳細については、マッピングテーブルを参照してください。
GetIt! リンク2の設定 二次配信オプションを定義します(Get It 2)		リモート 検索リソース : Alma / フルテキスト	システムは、 Almagetit_remote テンプレートを使って、Almaから追加のサービスをリクエストします。
		リモート 検索リソース : Alma / fulltext_linktorsrc	
		リモート 検索リソース : Alma / fulltext_unknown	
GetIt! タブ2テキスト設定	GetIt 2タブのラベルのコードを定義します。テキストはコードテーブルで定義されます。	すべて	すべての配信カテゴリ/ステータスには個別のコードがあります。詳細については、マッピングテーブルを参照してください。

Note

上記の表に記載されているすべてのテンプレートは、配信サブシステムの下にあるテンプレートマッピングテーブルで定義されています。

下表で、リモート 検索用の配信コードテーブルでのAlma固有の設定について説明します。

リモートコードテーブルの設定

コードテーブル	用途	配信カテゴリ/利用可否ステータス	定義
GetIt! タブ1	Get It 1タブのラベルを定義します。	リモート 検索リソース : Alma / フルテキスト	View It

コードテーブル	用途	配信カテゴリ/利用可否ステータス	定義
		リモート検索リソース：Alma / no_fulltext リモート検索リソース：Alma / citation_available	Get It
GetIt!タブ2	Get It 2タブのラベルを定義します。	リモート検索リソース：Alma / フルテキスト	Get It
		リモート検索リソース：Alma / no_fulltext リモート検索リソース：Alma / citation_available	タブが定義されていません。